

KANAGAWA



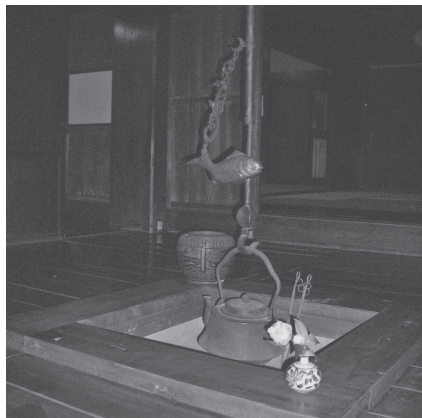
社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2010 年
9 月号

VOL.347



HP情報

○入会大キャンペーンについて

(期間:平成22年9月1日~11月30日)



目 次

① 建築探訪

③ 会員建築作品紹介

⑤ 歴史的建造物を訪れて

⑥ シリーズ名経営者の建築と風水 (9)

⑦ 知って得する木造住宅の知識 (9)

⑧ 建築・住まいるフェスタ2010 開催案内

⑨ 木神事協フェア 開催案内

旅のクイズ

⑩ 理事会報告

⑪ 委員会活動報告

第4回 支部長合同ブロック支部委員会開催報告

⑫ 関東ブロック協議会 開催報告

読者の広場

⑬ 神事協 歌壇・俳壇

本の紹介

⑭ 事務局便り

編集後記

建築探訪

豪農古民家「山十邸」

愛川支部 矢後 孝昭

過日6月23日に開催されました第4回支部長合同ブロック支部委員会で会場として使用しました愛川町の古民家「山十邸」。登録有形文化財にも指定されています。

県央地区とはいえ人里離れた山の中の地域であります愛川、その中にも伝統技術によって造られたなかなかの建物が残されています。

今回は「かながわのまちなみ100選」に選ばれている愛川町中津熊坂地区の旧街道沿いで愛川町が修復・保存を図りました古民家「山十邸」を探訪いたします。

「山十邸」とは、明治初期におけるこの地域の豪農層の住居のすがたを残すもので、その豪農の中でも熊坂家が「山十」（やまじゅう）の屋号で呼ばれていたために今でもこの建物は「山十邸」と呼ばれています。

またこの建物は、昭和19年に熊坂家から戦前の思想家、東京裁判でもなにかと有名になった「大川周明」の所有となり昭和32年に死去するまで、氏の住居として使用されていました。

建物自体は愛川町半原地区の宮大工棟梁、「矢内家」の14代目右兵衛高光(1822～1897)の三兄弟の手によって建てられたものといわれ、明治のはじめよりすでに110年ほど経っていると



のことです。

用材は檜を用い、ホゾ組やその他当時の宮大工の技術がふんだんに活かされた造りとなっていたりで、改修時の大工の話でもだいぶ複雑な技法が使われていると言うようなことを聞きました。

技術を極め、豪農としての贅を極めた材をふんだんに使い、大黒柱は尺六寸・差し鴨居は二尺・土間の式台は幅二尺の長さ四間一枚物・各種の建具等の材料は、今では調達が難しいのではと思われるすばらしさです、自然が作り出す本来の木や紙の美しさ、肌に触れたときのやわらかさ、暖かさ、おちつきが今の無機質な美しさと違った良さがあります。

「住まい」は自然が呼吸する空気の中でおちつける、「ほっ」と出来る空間でなければならないのではないかということを再認識させられます。



2

Town View

上野～浅草

撮影日：平成22年8月8日



比留間歯科医院



ニイミ洋食器ビル



かっぱの河次郎像

会員建築作品紹介



9号棟「フタバヤビル」

横浜支部 (株)ナトリ建築設計事務所

■計画概要

用 途：店舗・事務所

構 造：鉄骨造6階建

建築面積：162.96㎡

延床面積：835.18㎡

建築設計という業務を行っている、一般的には技術職的なイメージを持たれることもあるが、実際には人との関わりによって進められていく非常にヒューマンな職なのだ実感することが多々ある。そんな生業において施主との出会いはある種運命的なものだと感じているのだが、こと今回のこの戸塚のプロジェクトにおいては、それこそ稀な出会い方をしていた。プロジェクトへの誘いを受け、計画の概要を把握した段階で、その次に行ったチーム内での計画地の振分け。今回の場合において、正確には地権者は施主ではないのだが、打合せを行い、要望を伺い、承諾を得るといったステップを踏む作業を考えると、普段の業務における施主とほぼ変わらない存在であった。そんな地権者に会わずして、この2年以上におよぶプロジェクトがスタートした。結果的に考えると、あの時の計画地振分

けがある意味運命のサイコロのようなものであったのだろう。

そんな稀な出会いをしたこの「フタバヤビル」。立地的には現在建設中の公益施設と向かい合う東通り（旧図書館通り）と、6mの車輛進入禁止である仲通りとの角地にあり、その角から戸塚駅方向へ延びる道の先にはJR駅のホームを覗くことが出来る。逆にいうと将来的にも駅のホームから建物をうかがい知ることが出来る個別ビルゾーン（現戸塚パルソ）唯一のビルであり、地権者もその意味をよく理解していた。

今回の戸塚駅西口再開発エリア全体のデザイン指針を統括していたデザイン委員会との意見交換などから、各建築物には統一したアクセントカラーを配し、またそのアクセントカラーを将来的に壁面看板が計画される位置を想定して施すことで、看板の乱立による街並景観の劣化を予防するという試みを行うことになったので、このビルの角にそのアクセントカラーを配置することにした。将来看板が設置されれば、駅のホームから臨むそれは駅前商店街の広告塔のような役割を果たし、またたとえ看板がない状態でもその鉤括弧のような形状は、同じカラーを持つこの街区をひとつにまとめ、抱え込むような感じを抱かせることが出来ればという願いを込めている。そんな風にして街区にとって何かしらの存在意義を持つ建物にするという共同作業を今回の地権者と共に出来たのではないかなと思う。



戸塚パルソ9号棟



外観パース(壁面看板付)

会員建築作品紹介



10号棟「ベルハビル」

横浜支部 (株)ナトリ建築設計事務所

■計画概要

用 途：店舗・事務所

構 造：鉄骨造5階建

建築面積：217.01㎡

延床面積：1066.75㎡

この戸塚駅西口再開発において同じ主旨を持つ他の個別ビルゾーン建築群とは6mの仲通りによって一線を画することとなり、逆にバスターミナルから臨む景観としては巨大な共同ビルに寄り添うようにして立つこの「ベルハビル」。課題は個別ビルゾーンと共同ビルをメインとして新しく生まれ変わる戸塚駅西口の街並のなかで、この両エリアの狭間に立つような建物なので、バスターミナル側からの外観についても当然そんな要因を踏まえて街区で統一のアクセントカラーを配します。

しかし、この建物においてそれ以上に重視したのが、バスターミナルと数年後には公益施設が面することになる裏側の東通り（旧図書館通り）とを繋ぐ6mの車輛進入禁止の仲通り側の考察でした。この道路は歩行者専用となるため、舗装もただのアスファルトではなく、道路幅中央部には街灯が立つなどして、将来戸塚駅西口を利用する市

民の憩いの場となり得る可能性を持った道路である。そこで、まずはビルのエントランスをバスターミナル側ではなく、この仲通り側に配置することにした。そして、バスターミナルに面した他のビルは2階レベルでペデストリアンデッキと接続するため、1階の階高を5mとしているところ、敢えて同じ仲通りに接する隣の11号棟と同程度の4.2mとすることで、仲通りに面した街並の連続性を重視した。当然、ペデストリアンデッキのレベルは不動なので2階の店舗内には段差が生じるのだが、それがかえって空間に丁度良いアクセントを与えている。また、幸いにもこの2階に若者をターゲットとした美容室が入居したことも、おしゃれさを引き立ててくれたかもしれない。

そして二つ目のアイデアは、隣の11号棟の設計者と事前に相談し、それぞれが隣接する位置にエントランスを設け、さらに入口を少し奥へと下げることにより仲通りに面した「たまりの場」を創出することだった。この試みは独りよがりの設計者や施主がいては元より成立せず、また同時期に建設可能な再開発だからこそ成し得たのかとも思うが、何より両設計者の相談を快く承諾して頂けた両地権者に感謝です。そして、この試みが果たして上手く機能し、成功であったかどうかという判断は、今現在で下すのは難しく、本格的な街づくりが進んでいく将来へ託すことになりますが、願わくばこの歩行者専用の仲通りが市民の憩いの場として親しまれ、この街並の試みが少しでもそれに寄与できていければと望みを込めて、これからの戸塚を眺めていきたい。



10号棟外観（バスターミナル側）



10号棟外観（仲通り側）

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.41

同潤会上野下アパート

横浜支部 佐藤 光良

(助)同潤会をご存じの方は、建築にかかわる方にとっても多いと思います。同潤会は関東大震災の後に国内外から寄せられた義援金を基に罹災者の住まいや生活を支援するために造られた財団法人でした。

私が山形から大学に入るために上京してきた時は、この同潤会が建設したアパートが幾つかまだ現存していました。代官山駅前の団地形式（銭湯までありました）の代官山アパート・表参道の青山アパート（現在の安藤忠雄氏設計表参道ヒルズがある場所）、□型の平面を形作り日本の中流階級者の住居と謳った江戸川橋江戸川アパート（女優や建築士などが多く住んだそうです）、女子専用の大塚アパートなどが十分に使用されていました。とても雰囲気のある素敵なレトロなアパートだったのを思い出します。東京と横浜15か所に合計2508戸を建設したそうです。

その中で現在唯一つ残るアパートが今回紹介する「上野下アパート」です。場所はレトロな地下鉄銀座線「稲荷町駅」の上野方面からの改札口を出てすぐ目の前の清洲橋通りを左折し、一つ目の角に床屋が入っているビルがありますがそこです。構造は他と同じRC造です。昭和4年竣工ですが、去年秋「三ノ輪アパート」が解体されたことで此の「上野下アパート」だけが最後の同潤会ア



パートになってしまいました。

同潤会アパートはヒューマンスケールとして3～4階建てで計画されていましたが、「上野下アパート」は4階建てです。3階建ての青山アパートと同じように住戸配置は階段室の両側に住戸を設ける階段室型ですが、ここは3階までを家族用として設け4階は中廊下式の単身者向けの平面配置です。同潤会アパートは家族型と単身者の部屋が共存する計画が多いのですが、家族にはプライバシーの確保を、単身者には孤独感を抱かないようにとの配慮からの計画だったそうです。清洲橋通りに面した棟は階下に店舗を配した下駄履きアパート、奥の棟は住まい専用の歴史を感じさせる緑多い閑静なアパートです。昭和初期の建設当時から電気・ガス・上下水道・ダストシュートなどが完備されていました。底上端は防水と庇保護のためにトタンで覆われています。



今も多くの方が住んでいますので、もし見学をされる場合は敷地内には入らず、大声で話さないよう留意してご覧ください。この地から調理器具で有名な河童橋道具街までは歩いて10分足らずです。ついでにその後浅草まで足を延ばすとスカイツリーの工事の姿を目の前に見ることが出来ます。たまには江戸東京下町ツアーをいかがでしょうか。



シリーズ 名経営者の建築と風水(9) <徳川家康に学ぶ>

県西支部 稲葉 勉

日本の戦国武将、徳川家康、その経営手腕で日本全国を支配する体制を確立して15世紀後半に起こった応仁の乱から100年以上も続いた戦乱時代に終止符を打ち、260年以上続く江戸時代の礎を築いた、日本を代表する名経営者である。

日本の都市計画に風水が利用されたもっとも身近な例として江戸、現在の東京があります。徳川家康が江戸城を攻城し江戸幕府を置き、明治以降は日本の象徴である天皇家の皇居となっている。現在の日本にとって重心になる土地、重要な場所がどのような風水で守られているのでしょうか。

徳川幕府がおかれ、都市として整備される以前はほとんど未開ともいっていい土地だった江戸、沿岸部は湿地や草原で、内陸部は手つかずの山林、風水的にみても地勢がよい場所とは言い難かった。その江戸に目をつけ、平安京に負けないくらいの風水都市に仕立て上げたのが家康のブレーン天海僧正でした。天海はただの比叡山天台宗の出身僧ではなく、空海の密教、神道の秘技、方位学、占いにも強かったようです。江戸も天台宗の呪術で守護しようと考えたのですがまともに江戸の地形を京都に似せようとしても違いすぎるからできるわけではない、ということで天海は、地形をみて性格を見つけるという中国的な風水をあきらめ、いかにも日本的な「言霊」を使う風水に切り替えた。要するに、山の形が似ている似ていないに関係なく、一つの場所を比叡山な

ら比叡山に変えてしまうために、そこにそのまま比叡山という名を付けてしまうのです。江戸という都市を整備する手始めとして、江戸城の鬼門に当たる上野に東叡山寛永寺を築いた。西の比叡山に対して東叡山の名をつけ、寛永寺に隣接する不忍池は琵琶湖を燃して比叡山の立地をそのままコピーした。平安京の鬼門方向にあって宮城を守護する比叡山をそのまま江戸に当てはめた。また江戸五色不動のひとつ通称目黒不動は泰叡山・龍泉寺で、江戸城を挟んでシンメトリーな位置に置かれ、裏鬼門を押さえている。

ちなみにこの線上に国会議事堂の中心が通ります。設計者は意図していたのでしょうか。

江戸城を取り囲むように、目黒不動（目黒区竜泉寺）、目赤不動（文京区南谷寺）、目白不動（豊島区金乗寺）、目青不動（世田谷区教学院最勝寺）、目黄不動（台東区永久寺）の通称「江戸五色不動尊」がある。陰陽五行説では、それぞれの色が水、火、金、木、土を表し、この五つのエレメント（要素）で万物は成り立ち、それぞれが相克し、結びつき、循環していくことで現象世界が形作られているとした。陰陽五行は元々中国発祥の考え方だが、それが日本に入って陰陽道に発展していく。

※おすすめの本 荒俣 宏著「風水先生」
内田一成著「レイラインハンター」



(江戸の鬼門封じ)



(江戸の五色不動尊)

*この地図はレイラインハンターから引用させていただきました。

知って得する木造住宅の知識 (9)

必要耐力計算方法による結果について

大和綾瀬支部 高橋 国彦

耐震診断で求める必要耐力計算方法には3種類のものがあるが、それぞれの計算方法の違いについて検討してみる。診断建物の実状や目的に応じた使い分けをすることによって、正確な診断や補強設計が出来るものと思われる。

必要耐力計算方法は

- 1、簡易法：総2階建てと想定して求める
- 2、精算法：1階と2階の床面積の割合を考慮してK1、K2の補正を行う
- 3、基準法施行令第88条による方法：建物実状に応じて求める

診断法テキストには簡易法、精算法の解説はあるが基準法施行令第88条による方法についての解説はわずかである。この方法は最も実状に合っている。

(実例) S邸 建築年度昭和48年、木造2階建て、専用住宅、重い建物として扱う

1階床面積S1=46.37㎡、2階床面積S2=26.50㎡、上屋屋根は日本瓦、下屋は鉄板瓦棒、外壁は板貼りペンキ仕上、内壁石膏ボードクロス仕上、基礎は無筋コンクリート布基礎、地域係数は1.0、均し床荷重(テキストP25、P37)

1階：短辺3.67m、2階：短辺3.64m、(精算法4.0m未満割増1.3)

1・簡易法では必要耐力(テキストP25) Qr

$$2\text{階の必要耐力 } 2Q_r = S_2 \times 0.53Z \\ = 26.50 \times 0.53 = \underline{14.05\text{kN}}$$

$$1\text{階の必要耐力 } 1Q_r = S_1 \times 1.06Z \\ = 46.37 \times 1.06 = \underline{49.15\text{kN}}$$

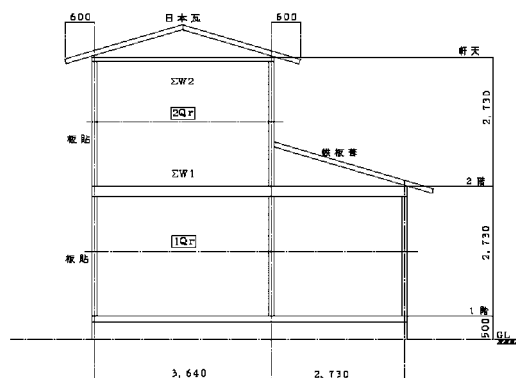
2・精算法では必要耐力(テキストP37) Qr

$$K1 = 0.40 + 0.60 \times R_{f1} \quad R_{f1} = S_2/S_1 = 26.50/46.37 = 0.57 \\ = 0.40 + 0.60 \times 0.57 = 0.74$$

$$K2 = 1.19 + 0.11/R_{f1} \\ = 1.19 + 0.11/0.57 = 1.38$$

$$2\text{階の必要耐力 } 2Q_r = S_2 \times 0.40 \times K_2 \times Z \\ = 26.50 \times 0.40 \times 1.38 \times 1.0 = \underline{14.63\text{kN}}$$

$$1\text{階の必要耐力 } 1Q_r = S_1 \times 0.92 \times K_1 \times Z \\ = 46.37 \times 0.92 \times 0.74 \times 1.0 \times 1.30 \text{ (割増)} = \underline{41.04\text{kN}}$$



3・基準法施行令第88条による方法(テキストP265) Qr

$$Q_r = \Sigma W \cdot Z \cdot R_t \cdot A_i \cdot C_o \quad Z=1.0 \quad R_t=1.0 \quad C_o=0.2 \quad T=0.03h \\ A_i = 1 + (1/\sqrt{a_i} - a_i) \times 2T_1 + 3T \quad W_1 = 1\text{階以上重量} \quad W_2 = 2\text{階以上重量} \\ a_1 = 1.0 \quad a_2 = W_1 / W_2$$

ΣW_2 , ΣW_1 計算

瓦屋根荷重w=0.92kN/㎡、下屋鉄板w=0.69kN/㎡、板貼りw=0.55kN/㎡

内壁w=0.45kN/㎡ 2階床w=0.6+0.6=1.20kN/㎡

$\Sigma W_2 = 58.15\text{kN}$ 2階以上の全荷重(詳細計算は省略)

$\Sigma W_1 = 158.81\text{kN}$ 1階以上の全荷重(詳細計算は省略)

$a_2 = \Sigma W_2 / \Sigma W_1 = 58.15/158.81 = 0.37$ A_i : 層せん断力の高さ方向の分布係数

$T = 0.03 \times H = 0.03 \times 5.99 = 0.18$ T : 建物一次固有終期

$2 \times 0.18 / (1 + 3 \times 0.18) = 0.36 / 1.54 = 0.23$ a : 重量分布係数

$A_i = 1 + (1/\sqrt{0.37} - 0.37) \times 0.23 = 1 + 0.29 = 1.29$

$$2Q_r = \Sigma W_2 \times 1.29 \times 0.20 = 58.15 \times 1.29 \times 0.20 = \underline{15.00\text{kN}}$$

$$1Q_r = \Sigma W_1 \times 1.0 \times 0.20 = 158.81 \times 1.0 \times 0.20 = \underline{31.76\text{kN}}$$

各算定法による必要耐力比較表(簡易法を基準とした場合の比率)

	簡易法	精算法	基準法施行令第88条による
2階	14.05kN (1.0)	14.63kN (1.04)	15.50kN (1.10)
1階	49.15kN (1.0)	41.04kN (0.83)	31.76kN (0.65)

4・むすび

テキストの均し荷重による必要耐力の計算は、2階部と1階部は同じ仕様として扱っている為、1,2階で屋根仕様の異なる場合などはこの計算方法では行えない。又ロフト、局部に重い荷重がある場合、実荷重に基づいて必要耐力を求め補強設計を行うことが必要となってくる。地震動の作用による必要荷重を求めることによって、的確な安全性を確保することになると思われる。

相模原支部キャンペーン 建築・住まいるフェスタ2010開催

安心・安全・快適な家づくり・街づくり

入 場 無 料

ご来場の方粗品進呈



★ **ちびっこ広場** ★

クラフト模型や
風船で遊ぼう！

★ **セミナー** ★

インテリアコーディネーター
岡部美津子先生
14:00～

★ **住まいのエコ広場** ★

来て見て体験
賛助会フェア

建築・住まいるフェスタ 2010

平成22年10月2日(土) 10:00～17:00

ミウイ橋本8階 社のホールはしもと多目的室
(神奈川県相模原市緑区橋本3-28-1)

- お住まいの無料相談
- 建築トラブル苦情・法律無料相談
- 建築士の為の実務相談
- 木造住宅の耐震無料相談
- 賛助会フェア
- 建築士事務所のPR



後援 相模原市、(株)建通新聞社、(株)神奈川建築確認検査機関、東京電力(株)相模原支社

共催 横浜弁護士会 相模原支部 連絡先 (社)神事協 相模原支部長 福永 憲一 TEL 042(771)3588

主催 (社)神奈川県建築士事務所協会 相模原支部 www.j-kana.or.jp/sagamihara/

お知らせ

(社)神奈川県建築士事務所協会・(社)神奈川県建築士事務所協会賛助会 共催

神事協フェア 開催

～ いい家つくろう ～

＊ ＊ エコついて ＊ ＊

(社)神奈川県建築士事務所協会及・(社)神奈川県建築士事務所協会賛助会及び建築士事務所の活動を内外へPRすることを目的とした『神事協フェア』をこの度開催することになりました。務所協会各委員会におけるセミナーの開催や日頃の委員会活動のPR、建築相談コーナーの設置、賛助会企業による商品展示会など盛り沢山の内容にて実施いたします。入場も無料となっておりますので、皆様のお越しを是非お待ちしております!!

日 時：平成22年10月21日(木) 11:00開場～17:00終了予定

会 場：横浜市技能文化会館 2F多目的ホール（住所：横浜市中区万代町2丁目4番地7）

アクセス：JR根岸線関内駅南口から徒歩5分

または横浜市営地下鉄伊勢佐木長者町駅出口2から徒歩3分

入場無料!!

開催内容 (予定)

1. 各委員会におけるセミナーの実施と活動のPRを行います。

◇神奈川県建築士事務所協会の各委員会において、皆様の日頃の業務へお役に立つべく、下記セミナーを実施致します！日頃の委員会活動内容に関連する展示もあわせて行いますので是非展示ブースへもお立ち寄りください。

情報提供セミナー 開催

- ☐ 住・緑・家コンペシステムのPR (実施：「住・緑・家」運営特別委員会)
- ☐ 省エネってエコ? (実施：企画業務委員会)
- ☐ 契約書の落とし穴 (実施：設計監理指導委員会)
- ☐ 家の基礎の基礎(地盤) (実施：技術調査委員会)
- ☐ 伝統工法に学ぶ自立循環型住宅 (実施：木造特別委員会)

2. 建築相談コーナーの設置

◇設計監理指導委員会において一般消費者向けの建築相談コーナーを設置します。(予約制)

3. 賛助会 商品展示フェア (実施：神奈川県建築士事務所協会 賛助会)

◇賛助会企業24社による商品の展示を行います。

当日ご来場いただきました会員の皆様へは神事協ポイントカード1ポイントを進呈!

詳細は後日発表致します!!

? 第2回 旅のクイズ 正解と当選者の発表

今回も多数のご応募ありがとうございました。^{せんざん}^{あやし}
 前回8月号掲載の第2回・旅のクイズの正解は仙山線の愛子駅でした。

【正解者】・横浜支部	(株)アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ	平山正義様
・横浜支部	(株)サトー恵建築事務所	佐藤恵様
・秦野支部	(株)柳川一級建築士事務所	柳川満様
・相模原支部	鈴木設計事務所	鈴木章一郎様
・県西支部	ソシオ・アーキテクト	小林幸一様
・県西支部	(株)アーキテクトホンダ	根岸こずえ様
・賛助会	ビイック(株)	小沼孝男様
・二宮町	都市経済部都市整備課	河村様

正解者の方の中から厳正なる抽選の結果、横浜支部 (株)サトー恵建築事務所 佐藤恵様が当選されました。

尚、今月号の旅のクイズはお休みします。次回は10月号にて出題予定です。お楽しみに!!

社団法人神奈川県建築士事務所協会

平成21・22年度 第8回・理事会概要

日 時：平成22年8月19日（木）

14：00～17：00

会 場：（社）神奈川県建築士事務所協会 2階会議室

出席者：23名

- ・ 会長挨拶 上原会長
- ・ 定足数の確認を行い、理事25名中22名出席のため定款第32条により会議の成立を報告
- ・ 議事録署名人として佐藤（光）・川島両理事を選出

1 議決事項

（報告事項）

- 第1号報告 会員（7月）の入退会承認についての報告
- 第2号報告 （社）神奈川県建築士事務所協会 顧問推戴についての報告
- 第3号報告 第35回建築士事務所全国大会参加申し込みについての報告
- 第4号報告 建築士事務所協会応援歌（富山県建築士事務所協会作成）についての報告
- 第5号報告 茅ヶ崎たいあっぷ90推進協議会後援名義使用についての報告
- 第6号報告 （社）日本建築学会後援名義使用についての報告
- 第7号報告 工学院大学講座の後援名義の使用についての報告
- 第8号報告 大学院インターンシップの受入先リスト及び受入事務所登録票についての報告
- 第9号報告 建築士事務所登録についての報告
- 第10号報告 事務局職員解雇についての報告

（審議事項）

- 第1号議案 正会員（8月）の入会について承認を求める件
- 第2号議案 共済会友の推薦の承認を求める件
- 第3号議案 「共済会規程」の一部改正の承認を求める件
- 第4号議案 公益法人制度改革対応専門委員会委員について承認を求める件

2 報告事項

（1）日事連報告

- ・ （社）日本建築士事務所協会連合会平成22年度・23年度役員について
- ・ 平成22年度・23年度各委員会及び委員について
- ・ 新規ワーキンググループおよび委員について
- ・ Excelを使用した業務報酬を算定するシステム（作成作業中）について
- ・ 上原会長が委員に就任した会員増強検討ワーキンググループの件について

（2）各委員会報告

- 1) 総財務委員会（7/1、8/12）
- ・ ピクチャーレールの取付について
 - ・ 「会員の証」デザイン募集について
- 2) 技術調査委員会（6/17、7/15、8/10）
- ・ 仕様書等の改定について
- 3) 企画業務委員会（6/4、7/2、8/6）
- ・ （仮称）まちづくり特別委員会の設立について
 - ・ 神事協フェアについて
- 4) 広報情報委員会（6/1、6/28、8/4）
- ・ 会報誌への広告の掲載について
- 5) ブロック支部委員会（5/26、6/23、7/21）
- ・ 会員増強用パンフレットについて
 - ・ 入会大キャンペーンについて
- 6) 設計監理指導委員会（6/22、7/14）
- ・ 「工事業者等の倒産に伴うトラブル対処法」研修会開催について
 - ・ 苦情解決事例集の会報への掲載について
- 7) 耐震診断業務特別委員会（開催なし）
- 8) 建築物耐震改修評価特別委員会（開催なし）
- 9) 「住・緑・家」運営特別委員会（6/18、7/16）
- ・ 「住・緑・家」登録事務所への監理業務報酬についてのアンケート実施について
 - ・ （財）建築技術教育普及センターの助成事業について
- 10) 木造特別委員会（6/25、7/23）
- ・ 各市町村の耐震診断補助基準の調査について
- 11) 委員長会（7/8）（報告なし）

（3）その他

- 1) 事務局職員の配置変更について
- 2) 行事日程等について
- ・ 平成23年1月21日 賀詞交歓会（幹事会：神事協）
 - ・ 12月9日 年末合同役員会・理事会・委員長会 来年度の予算について審議を行う。各委員会にて準備をお願いしたい。
- 3) 配布資料
- ・ 健康教室のご案内（9月22日開催）
 - ・ 神奈川建築コンクールについて

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告

総財務委員会

委員長 根岸 光司

総務と財務両方扱うのが総財務委員会です。会としてはかなり重い部署なのですが、事務局スタッフが優秀な為、あまり苦勞もせず楽しんでやっていると云えます。主な業務としては理事会に上げる為の議題の検討や収支予算決算、諸規定の整備、福利厚生等になります。現在懸案となっているものは、①ボランティアスタッフの募集、②会員之証デ

ザイン、③神健国保の健康教室と11/13のウオーキング、④共済会友推薦、⑤弔事の花輪・連絡網、⑥ピクチャーレール設置、⑦事務局内の融和、⑧次年度予算組、⑨公益法人の資料収集、⑩10/21賛助会フェア、⑪10/1全国大会等があります。次々と起こる問題に的確に対処することが求められる委員会です。

「住・緑・家」運営特別委員会

委員長 玉田 正人

私共委員会では、今期登録事務所も30社となり、「住・緑・家」コンペの県民への周知により、受注拡大に向けて会議を行っております。戸建住宅はもちろんですが、各市町村に在る、自治会館（町内会館）の建て替えには、地方自治体からの建設補助金も有り、コンペに適しているのではないかと!!この方面にも力を注ぎたいと思っております。（今まで7件中2件が自治会館の受注）。6月にも第1回目として、「住・緑・家」の在り方 運営方針等を、登録事務所と県木連で合同会議を行いました。みなさんの意見を議題としてより良いシステム構築を目指します。また、現在では神奈川県環境農政局

かながわ農林水産ブランド戦略課と県木連と共に「かながわの木」を認証しようと会議を行い、先日も県産材のヒノキ・スギ 80本を長野県試験センターに持ち込み、強度試験を行いました。結果は、国産材同等以上の強度!JAS規格同等品としての認証を取得する為動いております。登録事務所の方々にも、かながわの木をもっと深く理解していただく為講習会等も企画しております。

今後、設計事務所の本来の形で、設計監理業務が遂行される様に委員会メンバー共に協会員様の為になります様がんばりますので、会員の皆様の参加・協力をお願いしたいと思います。

第4回 支部長合同ブロック支部委員会開催報告

愛川支部 支部長 矢後 孝昭

平成22年6月23日（水曜日）開催

今回の「支部長合同ブロック委員会」は会場取りが県央ブロック担当という中で、愛川支部が会場準備をさせて頂きました。なかなか交通手段の乏しい愛川町に遠路、他支部から集まって頂くのは心苦しく思っていたのですが、逆に、会員数が少ない弱小支部また片田舎の支部でも事務所協会会員として支部会員全員（7名）が協力して本会事業に協力しているところを見て頂こうと会場の企画を考えました。会場を地元で「かながわまちなみ100選」に選ばれている愛川町中津熊坂地区の旧街道沿い古民家「山十郎」にて開催させて頂きました。（この建物は、明治初期、時の豪農「熊坂家」によるもので、昭和19年に熊坂家から戦前の思想家、太平洋戦争終戦後の東京裁判で法廷内で東条英機の頭を後ろから「ポカスカ」叩いたと、有名な「大川周明」の所有となり昭和32年に死去するまで、氏の住居

として使用されていた。）

上原会長が急遽、別公務により欠席のため吉川副会長の挨拶を頂き、各種重要報告事項を長々と聞き、会場の使用時間が17時までしか使えない中、「支部長合同ブロック支部委員会」のメインと考えられる各支部長との意見交換会は、我々が業務を行っていくにあたり法の矛盾について、多くの活発な意見が出されたのですが、時間の関係で不完全燃焼で終わらざるを得なくなりました。会議の中であと少し、各支部長との意見交換会の時間がとれたらと、残念に思いました。





関東ブロック協議会の報告

副会長 小林 忠志

日事連関東ブロック協議会（以下関ブロ）は東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃

木、山梨、群馬、長野、新潟の各単位会で構成され、日事連理事の選出、関ブロ単位会からの要望を日事連に上程すること、単位会同士の懇親等を主に行っており、関ブロを取り仕切るのは持ち回りで幹事会を決め、行っております。ちなみに昨年は当神奈川会が幹事会で行いました。

今年は東京会が幹事会で7月8、9日の両日で開催され、上原会長以下吉川、芝、小林の各副会長と三杉専務理事が出席して参りました。

会場は東京ベイエリアが一望出来る「ゆりかもめ竹芝駅」すぐの「アジュール竹芝」でまず会議が行われ、三栖日事連会長のご挨拶に始まり高津日事連専務理事より常任理事会、理事会報告、続いて山田群馬会会長より各委員会の活動報告あり、その後意見交換をして会議を終えました。

この中で特に会員の皆様にお伝えしたいのは、業務報酬検討ワーキンググループ、会員増強ワーキンググループが新たに設置されたことです。

特に会員増強は日事連の会員組織率を高めることで、基準法、建築士法の内容についての

提言の実現を図り、新たな業法の制定を実現させ、会員の皆様はもとよりこれからの建築を目差す若者に希望を与え、建築士事務所協会の加入義務化へは絶対に必要なものです。

只、会員増強を実現するには単位会や単位会支部の真摯な活動が不可欠です。しかし日頃の業務を縫っての活動になろうかと思っておりますので日事連としては施策の提言だけでなく予算措置が絶対必要になってくると思いますので、上原会長においては是非頑張って頂きたく誌面をお借りしてお願い致します。

少し前段が長くなりましたが、会議後は屋形船でベイエリアの夜景を楽しみながらの懇親会を楽しみ初日の日程を終えました。

翌日はバスでベイエリアを車中見学しながら話題の東京スカイツリーの研修です。スカイツリーでは設計者の日建設計様より計画実施設計、構造設計の責任者の方に説明を受け、矮小な敷地のためあのような形状になったこと、五重の塔の構造を参考にしたこと、ツリー中心のRC心棒は建築物確認で、外回りの鉄骨部分は工作物確認で行ったこと、展望台の一階部分は確認上29階にあたることなど特に興味深く見学しました。

最後に浅草寺を見学して老舗の「浅草むぎとろ」で昼食をとり東京駅で解散し関ブロの日程を全て終了しました。

出席の皆様ごくろうさまでした。ちなみに来年は長野会が幹事会となります。



12

読者の広場

人それぞれのウォーキング

海老名支部 和智 正康

私の家（相模原市南区大野台）の近くに「木もれびの森」があります。毎日ここで一万歩のウォーキングをします。きっかけは六歳年下の弟が十五年前に脳梗塞で倒れたことです。医者から「脳梗塞は遺伝病であり、お兄さん方がいつ倒れても不思議ではありません、予防のためにウォーキングをしろ」と言われました。それからすぐに始めました。木もれびの森はクヌギ、コナラ、ミズキ、イヌシデ等々、緑が多く森林浴に最高の場所です。コースは色々あり変化に富んでいます。ウォーキングをしている人も、人それぞれです。一人（私も）で黙々と歩いている人、二人で黙々と歩いているのは夫婦のカップルが多いようです。二人で飽きも来ないで歩きながら話をしているのは女の人どうしのカップ

ルのようです。三人以上となると近所の人どうしが多いようです。ただし男女混合は今のところ見かけません。年令は高齢者が多いようです。ここでは私は若造の部類です。若い女性は犬の散歩に来ている人が大多数です。ダイエットのために来ているのは二、三人です。歩き方も本格的に両手両足を大きく使いダイナミックに歩く人もいれば、そぞろ歩きに近い人もいます。リハビリを兼ねてゆっくりと歩いている人もいます。下を向いたまま挨拶もしない人、こちらが無視していても大声で声をかけてくれる人もいます。共通しているのは皆さんが毎日参加していることです。ですから、とても元気です。私も、これからもずっと続けていきたいと思ひます。

第9回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

静けさも一人たのしむ盆の夜

(相模原支部 小林忠志)

母と見る花火の空で父笑う

(横浜支部 良光)

通勤の変わらぬ朝に秋の風

(事務局 走友)

ほろ酔いで角を曲がればおぼろ月

(事務局 走友)

【短歌】

緑なるゴーヤのカーテン涼しげに部屋の趣水の中の様

(横浜支部 良光)

満月の朧なる赤切なげに夏の終わるか秋の始まり

(横浜支部 良光)

【川柳】

昼休みゲゲゲで昭和をまた歩く

(横浜支部 良光)

借景は高層ビルの浜離宮

(川崎支部 雲休)

連絡網上手く使えば力なり

(大和綾瀬支部 小幡秀造)

神事協手を取り合えば仕事力

(大和綾瀬支部 小幡秀造)

古臭い考え捨てて前進だ

(大和綾瀬支部 小幡秀造)

この夏は弱冷房車が空いている

(事務局 通勤人)

本の紹介『鳥の飛行方法』

平塚支部 新倉 良一

昔から、私たち人間は鳥のように空を飛びたいという夢を描いてきた。鳥が空を飛行する姿を見て、人間が空を飛ぶ方法を飛行機などの形で実現してきた。今日、その原理は空を飛ばささまざまな方法で実現されている。

そのことに関して、私が若い頃に読んだ「動物と太陽コンパス」という新書本の中に、鳥のさまざまな飛行術のことが、興味あるテーマで載せられている。

その中に、渡り鳥に関するおもしろい記事がある。つばめや鴨の仲間の遥か10000kmにおよぶ越冬地への飛行は、時期をたがえることなく、正確に前年過ごした地点に到着する。生息地を飛び立って地球の半分を移動して、方向をまちがえず一点にたどり着く鳥の帰巢性にもとづく、方位知覚の方法が書かれている。これは、鳩のような昔から人類に利用されてきた鳥にも存在する。競技用の鳩は、遠く離れた地点から放されて、故郷の飼い主の巣に再びもどっ

てくる。放されて方向を知覚して飛行する方法の選定は、太陽の高度や位置関係、体内時計や地球の地軸の傾きなどで座標を割り出す鳥に備わった太陽コンパスがあることが、興味ある事例でさまざまに紹介されている。

最近の野鳥のこと、最近我が家でも春になると、メジロ、ひよどり、ハクセキレイなどが花芽をもとめて椿の木などにあつまる。東京では集団で移動が確認されているムクドリの間でも飛来するようになった。環境と生態系の変化であらう。ムクドリなどは集団で枇杷の果実をことごとく食べつくしてしまう。困ったものだ。

日々の仕事のことで熱中している私共も、仕事を離れ郊外や自然が残る山林などを散策する機会をつくることで、木々の間を飛び交う小鳥のさえずりなどを聞いて、季節や環境の変化が感じられ、しばらくその様子を眺めることは、喧騒を忘れてたのしい時間である。

会員異動報告		
退会		
横浜支部		
Nデザイン一級建築士事務所	中島 英樹	
平塚支部		
伸和建築設計事務所	高橋 信之	
厚木支部		
(有)佐藤国設計	佐藤 学	
相模原支部		
(株)帝設計研究所	柳川 克弥	
県西支部		
(株)岡部工務店一級建築士事務所	岡部 昭一	
変更		
横浜支部		
一級建築士事務所A & A設計室(戸塚・栄)		
(事務所名変更)(株)A & A設計室		
一級建築士事務所(株)シンワ検査(都筑)		
(会員名変更) 高森 惇		
川崎支部		
(株)日豊東京支店一級建築士事務所(宮前)		
(事務所名変更)(株)日豊一級建築士事務所		
(有)堤設計(幸)		
(事務所名変更)(株)堤設計		
(会員名変更) 近藤 和吉		
(所在地変更) 〒212-0052 川崎市幸区古市場1-15-11		
厚木支部		
厚木支部		
(株)タカハシ建築設計事務所		
(事務所名変更)(有)高橋貢住環境設計事務所		
(会員名変更) 高橋 貢		
(所在地変更) 〒243-0014 厚木市旭町2-2-21		
(TEL・FAX変更) TEL.046-226-8977 FAX.046-226-8979		
県西支部		
パウハウス一級建築士事務所		
(所在地変更) 〒250-0855 小田原市清水新田253-2		
(TEL・FAX変更) TEL.0465-34-7061 FAX.0465-34-7061		

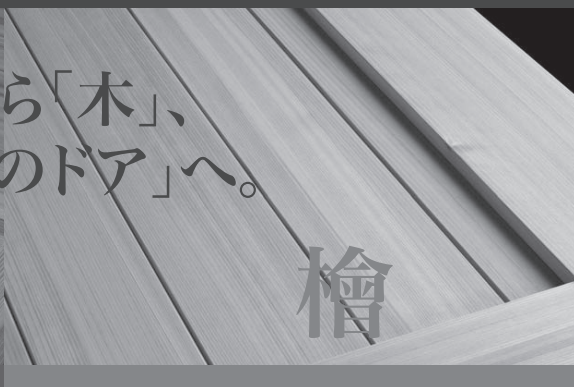
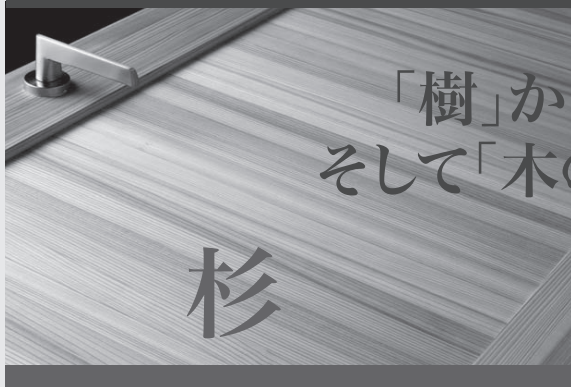
賛助会会員異動報告		
入会		
(株)ジェイビーエス		
〒337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮5-10-17		
TEL.048-688-1680 FAX048-688-1673		
【代表者】石井 勝男 【担当】石井 勝男		
【営業内容】耐震基礎補強		

会 勢		平成22年8月20日現在				
支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	270	272	6	4	2	
川 崎	94	93	2	3	-1	
横 須 賀	57	55	0	2	-2	
湘 南 三 浦	22	21	0	1	-1	
藤 沢	21	22	1	0	1	
鎌 倉	31	32	1	0	1	
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0	
平 塚	21	20	0	1	-1	
伊 勢 原	8	8	0	0	0	
秦 野	17	17	0	0	0	
大和綾瀬	22	22	0	0	0	
厚 木	36	37	2	1	1	
座 間	11	12	1	0	1	
海 老 名	14	14	0	0	0	
愛 川	8	8	0	0	0	
相 模 原	87	86	0	1	-1	
県 西	51	49	1	3	-2	
合 計	786	784	14	16	-2	
賛助会員	65	68	4	1	3	

9月の行事予定	
9月1日	広報情報委員会 AUTO-CAD 研修会
2日	総財務委員会 かながわ建築設計政経研究会幹事会
3日	木造特別委員会 企画業務委員会
8日	AUTO-CAD 研修会
9日	正副会長会 委員長会
10日	「工事業者等の倒産に伴うトラブル対処法について」研修会 (会場：情文ホール)
13日	「神奈川県建築基準法取扱基準に関する講習会」 (会場：横浜市技能文化会館)
15日	ブロック支部委員会 支部長合同ブロック支部委員会
16日	技術調査委員会
22日	健康教室
27日	「省エネ法に基づく届け出実務研修会」 (会場：日本丸訓練センター)
28日	JW-CAD 研修会

編集後記	
朝ドラの『ゲゲゲの女房』が好評なようである。あの水木さんの父親が、我が亡父と似ていて時々苦笑させられる。昔、家の前にRCの集合住宅が建設された時、父は騒音に腹を立て現場事務所へ抗議に行ったことがあった。しばらくして帰宅した父は、ギターを抱えて再度現場へ急いだ。思いの外、皆さんと意気投合したそうで自己流でかき鳴らしていたギターを聞かせたくなっただけらしい。マイペースで飄々とした父が今の私を見たら、「もっと肩の力を抜けよ」と言われそうである。 (横浜支部 後藤 かをり)	

かながわ 平成22年9月号（通号347号）		定価420円（消費税込）	
発行	平成22年9月1日（毎月1日発行）	担当副会長	小林 忠志
発行人	上原 伸一	広報情報委員長	佐藤 光良
発行所	社団法人 神奈川県建築士事務所協会 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F TEL. 045-228-0755 FAX. 045-212-3807	広報情報副委員長	吉田 宣郎
印刷所	株式会社 柏苑社	広報情報委員	稲葉 勉
			恩田 耕爾
			後藤かをり
			竹尾 秀一
			野口 友弘
			川島 良夫
			遠藤 世一
			小泉 厚
			杉崎 雅治
			新倉 良一



「樹」から「木」、
そして「木のドア」へ。

杉

檜



住まいに「癒し」が求められている時代に、
木を使った空間の中で暮らす心地よさとぬくもりが、
あらためて注目されています。
木のよさを知り尽くし、
木にこだわり続けるA&Kがおくる
国産材の杉と檜を使用した内装ユニットドア「森のかおり」

[環境対応型ドア製品]

森のかおり

阿部興業株式会社
<http://www.abekogyo.co.jp>

A&K神奈川地区 営業ネットワーク

横浜支店 〒246-0026 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南3-21-5
川崎支店 〒230-0071 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-18-36
相模原支店 〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝305
秦野支店 〒257-0031 神奈川県秦野市菅屋柳川原4731

TEL:045(362)5588(代) FAX:045(362)3388
TEL:045(580)8081(代) FAX:045(583)1844
TEL:042(777)6181(代) FAX:042(777)5195
TEL:0463(82)7311(代) FAX:0463(85)1240

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

◆賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>
（「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます）
本会の先生方限定のお得な情報（会員様限定の割引価格などなど）をHPに掲載（掲載費無料）

◆会報『kanagawa』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!!（掲載費無料）

お問い合わせは…担当：広報委員 西村真一（三洋工業株式会社）

TEL：03-3685-3452 Mail：shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp